



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 ベース株式会社 上場取引所 東
コード番号 4481 URL <https://www.basenet.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 克成
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼財務部長 (氏名) 高野 哲行 TEL 03 (5207) 5112
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	14,731	6.8	3,786	9.6	3,805	10.6	2,621	11.5
2023年12月期第3四半期	13,787	9.9	3,453	17.1	3,442	16.1	2,350	15.7

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 2,687百万円 (9.9%) 2023年12月期第3四半期 2,445百万円 (13.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	139.77	138.50
2023年12月期第3四半期	128.88	124.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	15,802	12,621	77.8
2023年12月期	16,323	12,457	74.4

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 12,289百万円 2023年12月期 12,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	40.00	—	52.00	92.00
2024年12月期	—	50.00	—		
2024年12月期（予想）				52.00	102.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,359	19.5	5,642	20.0	5,642	20.2	3,877	12.9	206.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期 3 Q	18,793,200株	2023年12月期	18,770,400株
② 期末自己株式数	2024年12月期 3 Q	197,258株	2023年12月期	482株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期 3 Q	18,756,123株	2023年12月期 3 Q	18,238,098株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国内経済は、2024年春闘の結果を反映した賃金や好調な企業収益を背景とした賞与等により所得状況が改善され、個人消費は徐々に回復基調にあります。しかしながら、中東情勢をはじめとした国際的な情勢不安の長期化や、人件費・流通コストを含めた物価上昇が継続する影響等もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。日銀が公表した短観によると、大企業製造業の業況判断を示す指数は+13ポイントとなり、前回調査からは横ばいでした。また、大企業非製造業では+34ポイントとなり、前回より1ポイント上回りました。

当社グループが属する情報サービス業は、今後本格化する人手不足への対応や企業の競争力向上のため、デジタル変革「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」を始めとしたデジタル投資のニーズや、SAP・ERPの保守サポート期限終了による駆け込み需要等を背景として好調に推移しました。特定サービス産業動態統計（経済産業省/2024年8月分）によると、情報サービス業の前年同月比の売上高は2022年4月以降8月まで29カ月増加傾向で推移しております。また、法人企業景気予測調査結果（内閣府・財務省/令和6年7-9月期調査）によると、2024年度のソフトウェア投資額を含む設備投資額は12.5%増の見込みとなっており、前回調査より0.4%増加しております。企業のIT投資に対する意欲は、DX機運やコロナ禍によるビジネス環境の変化により堅調に推移していますが、システムエンジニア（SE）不足は常態化しており、IT人材の育成が急務となっております。

このような経営環境の下、当社は当面の目標として営業利益100億円を掲げており、その目標を早期に達成するため、事業成長の源泉である人材確保及び営業活動に注力してまいりました。

採用については、国内、中国の2系統の採用ルートがあるという強みを最大限活かし、グローバルで優秀な人材の採用を継続しております。国内の中途人材に関してはシステムエンジニア不足の影響から苦戦しているものの、新卒採用や中国採用などにシフトし、人材確保に努めております。

育成については、全社員を対象に等級・役職に応じたスキルの底上げを目的とした社内教育「ベースアカデミー」を運営しております。さらに自主的にスキルアップを希望するすべての社員に対しては、社外のオンライン学習「Udemy」を自由に受講できる環境を整備し、社員の能力・技術力向上を支援しております。

また、前期よりオープン系SEにSAPスキルを習得させるマルチタレント育成計画を開始し、社員の技術領域の拡大を目指しております。当期は旺盛なSAP需要を踏まえ、前期以上を計画し、育成及びSAP案件への参画は順調に進んでおります。

加えて、若手社員の育成にも力を入れるため、当期より若手社員向けのリーダー研修を新設いたしました。自ら手を挙げた社員を対象に、当期中に120名以上の若手リーダーを育成する計画です。研修参加および社内試験に合格した社員には来期のリーダーポジションを確約し、早期よりリーダー経験を積むことで将来有望な社員の発掘と会社全体のスキルの底上げ、モチベーション向上に繋がります。

営業については、今後将来にわたって成長を続けるために、顧客とのリレーション構築や提案活動の主体を役員から部長クラスへシフトし、より多面的な営業活動を前期より推進しております。部長クラスの営業経験やノウハウは着実に蓄積されており、少しずつ成果は出ているものの、期待する結果が出るまでに時間を要しております。

更に、営業体制の一層の強化のために、営業支援を行うビジネス推進統括部の体制補強を実施しております。また、希望する次期部長を目指す若手社員にも一部営業業務を担当してもらうことにより、営業に携わる人員を増やすとともに、部長就任前から営業経験を積むことで、部長就任後の営業活動をスムーズに行える仕組みづくりを行っております。

中国子会社においては、中国経済が停滞する中、現地企業、日系企業等からの商談を堅実に受注に繋げ、中国子会社の事業は堅調に推移しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高14,731百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益3,786百万円（前年同期比9.6%増）、経常利益3,805百万円（前年同期比10.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,621百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

なお、当社グループは、ソフトウェア受託開発事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は15,802百万円となり、前連結会計年度末より521百万円減少しました。

流動資産は、前連結会計年度末より483百万円減少し、14,161百万円となりました。これは主に配当金の支払等により現金及び預金が645百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末より37百万円減少し、1,640百万円となりました。これは主に期末時価の上昇により投資有価証券が41百万円増加した一方、繰延税金資産が102百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は3,180百万円となり、前連結会計年度末より685百万円減少しました。

流動負債は、前連結会計年度末より685百万円減少し、3,165百万円となりました。これは主に賞与引当金が970百万円増加した一方、未払法人税等が165百万円、賞与の支給等により未払費用が1,256百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と変わらず、14百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は12,621百万円となり、前連結会計年度末より164百万円増加しました。これは主に自社株買いにより自己株式が612百万円増加した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が706百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,551,014	9,905,265
売掛金及び契約資産	2,680,325	2,840,599
仕掛品	135,354	110,461
短期貸付金	1,165,789	1,133,446
その他	112,778	171,905
流動資産合計	14,645,262	14,161,678
固定資産		
有形固定資産	82,849	85,107
無形固定資産		
ソフトウェア	3,284	3,117
その他	289	289
無形固定資産合計	3,574	3,406
投資その他の資産		
投資有価証券	970,396	1,012,010
その他	621,254	540,043
投資その他の資産合計	1,591,651	1,552,054
固定資産合計	1,678,076	1,640,569
資産合計	16,323,338	15,802,247
負債の部		
流動負債		
買掛金	926,726	907,356
1年内返済予定の長期借入金	11,936	—
未払法人税等	669,735	504,490
未払費用	1,550,477	293,586
賞与引当金	—	970,942
その他	692,874	489,591
流動負債合計	3,851,749	3,165,968
固定負債		
長期末払金	14,380	14,380
固定負債合計	14,380	14,380
負債合計	3,866,129	3,180,348

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,119,178	1,121,099
資本剰余金	1,059,993	1,061,914
利益剰余金	9,702,366	10,408,899
自己株式	△1,310	△613,312
株主資本合計	11,880,228	11,978,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172,201	201,878
為替換算調整勘定	95,770	108,977
その他の包括利益累計額合計	267,971	310,856
新株予約権	477	420
非支配株主持分	308,531	332,022
純資産合計	12,457,208	12,621,899
負債純資産合計	16,323,338	15,802,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	13,787,377	14,731,016
売上原価	9,514,655	10,025,418
売上総利益	4,272,722	4,705,598
販売費及び一般管理費	818,851	918,598
営業利益	3,453,870	3,786,999
営業外収益		
受取利息	5,675	19,296
受取配当金	1,485	1,490
投資有価証券売却益	5,566	4,941
為替差益	4,081	—
その他	665	2,340
営業外収益合計	17,474	28,069
営業外費用		
支払利息	225	3
不納付加算税等	27,441	—
支払手数料	—	2,609
為替差損	—	6,483
その他	1,267	120
営業外費用合計	28,933	9,215
経常利益	3,442,411	3,805,852
税金等調整前四半期純利益	3,442,411	3,805,852
法人税、住民税及び事業税	960,894	1,079,436
法人税等調整額	96,436	89,583
法人税等合計	1,057,331	1,169,020
四半期純利益	2,385,080	2,636,832
非支配株主に帰属する四半期純利益	34,601	15,231
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,350,478	2,621,601

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	2,385,080	2,636,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,415	29,677
為替換算調整勘定	48,323	21,466
その他の包括利益合計	60,739	51,143
四半期包括利益	2,445,819	2,687,976
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,392,256	2,664,485
非支配株主に係る四半期包括利益	53,562	23,490

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、ソフトウェア受託開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	19,370千円	18,194千円